

C I E映画とそのアーカイブ化

——作品例、その流通、アーカイブ化

山内隆治

1. CIE映画とは

第二次世界大戦後、教育短編映画を利用した日本に対する占領政策が連合軍最高司令官総司令部（General Headquarters, the Supreme Commander for the Allied Powers: GHQ/SCAP）の民間情報教育局（Civil Information and Education Section: CIE）によって行われた。まず、昭和21年（1946）前半に米国国務省国際映画部から7作品が送られた。その後は米国陸軍オリエンテーション課からCIEにフィルムが送付され、その数は昭和25年（1950）12月までに500本前後に達した。この中からCIE教育映画ユニットが選定した作品に、日本の映画製作会社が日本語ナレーションを付け、上映用プリントを作成した。昭和23年（1948）2月、CIEは日本の文部省に対し、映写機を大量に無料貸与するので全国に配布し社会教育のために適当な上映体制をはかるよう要請した。同年3月には「米国陸軍省所有十六耗発声映写機及び映画受け入れ要領（文部次官通牒案）が作成されている。この映写機はメーカー名であるNational companyからナトコと呼ばれた。米軍が太平洋戦争中、前線や占領地での娯楽や宣伝に使用した米国製16mm発声映写機である。このナトコが1300台、日本の文部省に貸与された。その後、各都道府県の社会教育課に視覚教育係を新設し、さらにその下に都道府県中央図書館を設置場所とする視聴覚ライブラリーを所属させ映画の普及を図った。

各都道府県が提出したデータをもとに占領軍が作成した昭和26年（1951）7月までの観客動員数統計によると、総計9億4,504万3,007人の日本人がCIE映画を見ており、この数字はまだ増え続けていた。昭和25年（1950）の日本の人口が約8,300万人であるから、単純に計算すればすべての日本人が一人あたり10本以上のCIE映画をみたことになる。（中略）多少の誤差はあるとしても、非常に多くの日本人がCIE映画をみていたことは間違いない^(注1)。

このように、最終的に406タイトルを数えるCIE映画は、日本全国に広く普及したのである。次項よりCIE映画についてより詳しく具体例を以て紹介するが、本稿は『昭和のくらし研究』に掲載されるものであるため、特に昭和時代の〈くらし〉に深く関わった作品『明るい家庭生活』を取り上げる。

2. CIE映画の作品例

CIE No.211『明るい家庭生活』は、当時の文部省の指導した家庭科ホームプロジェクトを通して行われる日本の台所改善の試みを紹介した映画である。



図1 《タイトル》

CIE No.211 『明るい家庭生活』は1950年の10月に公開された。当時の金額で約200万円の予算で製作された。



図2 《戦後女性の権利》

ナレーション：戦後、日本の女性は男子とまったく同等の権利を持つようになりました。戦後日本の復興は着々と進んで、もう今では食物や衣類にはほとんど不自由しなくなりました。



図3 《台所の実際1》

ナレーション：しかし大抵の家ではお台所は依然として非能率的で、そのためにどれだけ主婦が無駄な時間や労力を費やしていることでしょう。



図4 《台所の実際2》

屋外の物置に積まれた薪を運び、かまどにくべる。



図5 《台所の実際3》

母親の重労働を気遣う長女（この映画の主人公、光子）。



図6 《ホームプロジェクト》

主人公の通う高等学校では家庭科の授業を通してホームプロジェクトの取り組みが行われていた。ここでは台所の改善がテーマとして決定され、実践としての台所改善が始まった。



図7 《授業 光子の発表》

私の家は農家なので台所が土間にあり、鶏なんか平気で出たり入ったりしていて、外の不潔なものをそのまま家の中へ持ち込んできます。



図8 《授業 議長の発言》

つまり衛生的でないということですね。いろいろご意見がでました。台所と御不浄が近かったり、排水が悪く、流し元がいつもジメジメしていたり、ゴミ箱の処理が悪いためハエが多かったり、衛生的でないということと、もうひとつ能率的でないというのが大体の意見でした。



図9 《家族に改善の提案をする光子》

ゴチャゴチャした台所のお仕事でも、順序がよければ、ずいぶん能率が上がると思うのよ、お母さん。薪やいろんな材料を納屋まで取りに行くのは大変だから、ここに箱と棚を作って置いとくでしょ。次は流し、水がめはあそこに置いとくの。



図10 《進駐軍家庭の台所》

ナレーション：幸い先生のお知り合いにアメリカ人がいらっしまったので、先生の紹介でそのおうちを訪問し、アメリカの家庭のお台所を見せていただく事ができました。二人は大きな明るい窓、いろいろ便利な台所用品や、その整然として能率的な配置などをよく研究してノートにとりました。



図11 《百貨店の模範台所》

ナレーション：それから百貨店で模範台所も見学しました。もちろん二人とも自分たちの台所をいっぺんにこのように改装することはできませんが、これらの立派な理想的なお台所を見て得た貴重なヒントを自分たちのお台所改善に活用することはできるし、これが大切なことなのです。



図12 《水がめは動かしてはいけない》

光子や。その水がめを動かしてはいけません。百姓は水が命です。その水がめは長い間そこに置いてあって家じゅうで一番良い置き場所なんです。それを動かすことはなりません。



図13 《水がめは動かしてはいけない 2》

しかしやがて、家族一丸となつての台所改善の様子に心を動かされた祖母は、率先して水がめを動かす。

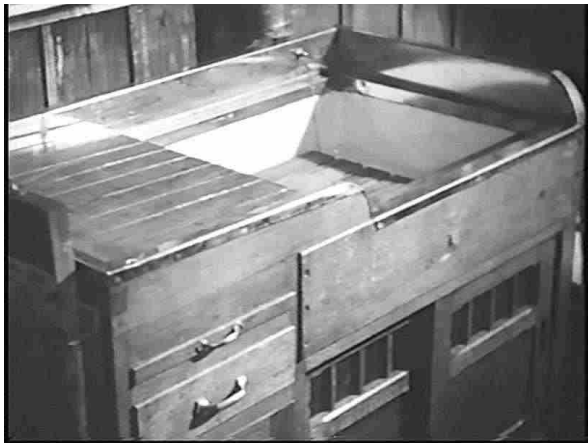


図14 《完成した新しい台所 1》

手づくりの流し台。



図15 《完成した新しい台所 2》

お皿は立てて置くことで、取りだしも簡単。



図16 《完成した新しい台所 3》

大きく明るい窓。



図17 《むすび》

ナレーション：みなさん。よく考えてやればたいした費用もいらずに、お台所を改善する事が出来ます。ごらんのように男の子さえ喜んでお手伝いするようになるでしょう。光子さんや啓子さんをお手本に、皆さんもお家のお台所をもっと働き良い楽しい所にして、家庭生活を明るくしてはいかがですか。

以上、見てきたようにこの作品では当時日本の典型的な農家の台所を近代的に改装するまでの工程をドラマ仕立てで解説している。これを、単にアメリカ流合理主義や物質文明の押しつけプロパガンダであると断じてしまってはならない。この作品の仔細な映像分析をおこなった目覚ましい研究として、広島大学の柴静子による「占領下の日本における家庭科教育の成立と展開 (XV)」がある。

ところで、映画『明るい家庭生活』の製作に当たって、CIEに映画化の企画書を提出したのはM. ウィリアムソン (M. Williamson) であった。ウィリアムソンは昭和24年(1949)7月に来日して以来、中等教育研究集会や家庭科研究会に参加するため各地を訪れていたが、そこで見た日本女性の抑圧された生活、とりわけ調理に費やす時間の多さと台所設備の低位さに驚いた。それゆえ台所改善は日本人の急務の課題と考えていた。一方高等学校家庭科においてはホームプロジェクトの導入が必須と信じていたので、この二つを合わせて、生活の合理化と家族関係の深化、そしてホームプロジェクトの推進をねらった映画の制作を企画した。^(注2)

この映画の企画が、国家の意図から下りてきたものではなく現場でつぶさに日本を見たアメリカ人から発したものである点に注目しなければならない。映画の結びにあるようにこの映画の提案が、地に足の着いた実現可能な提案であることがウィリアムソンの真摯な仕事ぶりを伺わせる。この点をもってもこの映画を合理主義、物質文明の押しつけプロパガンダと断じてはならないと考える。また、柴の研究ではこの映画の特徴として大きく5つあげている。

1. 新しい時代を象徴する映像と古い因習や封建制を象徴する映像の対比をとおして家庭生活の近未来像を提案している。
2. ホームプロジェクトの手法が明確に描かれている。
3. ホームプロジェクトが、よりよい家族関係・人間関係を築く可能性のあることを示している。
4. 台所改善に関して当時の農林省農業改良局の主張が盛り込まれている。
5. この映画の台所改善の内容が、昭和7年(1932)に文部省が製作した無声の教育映画『臺所の改善』に類似しながらもその目的と方法に大きな差異がある。

特に5については、示唆に富んだ視点であり、戦前から戦中戦後にかけての「日本」「アメリカ」「近代化」というテーマについて奥深い議論を孕んでいる。この映画で示されているような

台所を改善しようという提案は、日本においても昭和7年(1932)の時点で既に国家から国民に対して行われていたのである。しかし、それは、この映画に見られるような民主的な家庭の建設を合理的な方法で台所を改善することで目指すのではなく、満州事変を経た日本国家が来るべき戦争に備える新生日本を建設する目的のために、精神論を以て台所の改善を目指すという内容なのである。

以上のように、この1本の映画を見るだけでもCIE映画が今日においても奥行きのある深い議論を喚起する貴重な資料であること、そしてそのアーカイブ化が非常に重要な課題であることがわかる。

3. CIE 映画の流通

さて、次にCIE映画が当時どのように流通したかについて、CIE No.300『新しい眼新しい耳』を通して紹介する。



図18 《タイトル》

本作品については、現在日本語版が発見されていないため英語版をみてゆく。



図19 《幻燈フィルム》

全国の視聴覚ライブラリーには映画フィルムの他に、幻燈フィルムの用意もある。

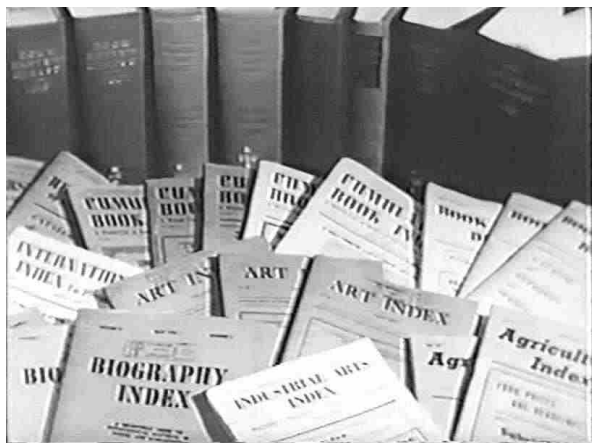


図20 《雑誌》

同じく、各国の情報を得るべく世界の雑誌類も揃っている。



図21 《映画フィルム》

こうした四角いファイバーのケースに入ったものが貸し出し用の映画フィルムである。



図22 《アメリカから届いたフィルム》

米陸軍長官室占領地域担当再教育部は、旧敵国民の再教育にふさわしい映画を調達して世界の占領地域に送っていた。写真は、缶に入った35mmフィルムである。



図23 《試写》

占領軍 CIE のスタッフにより試写選定が行われ選ばれた映画だけが日本用に作り変えられる。

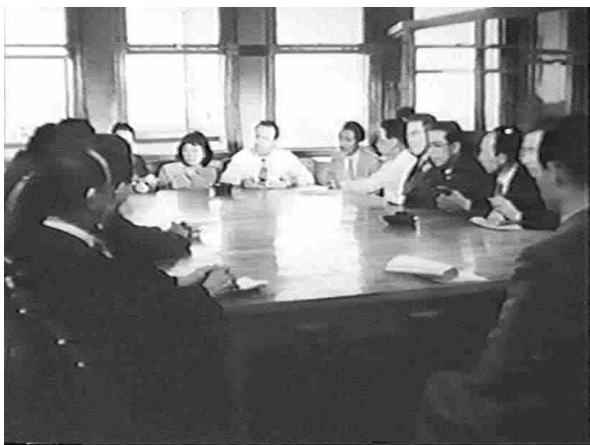


図24 《選定の討議》

日本人のスタッフも含まれている。



図25 《翻訳》

英語版の映画の日本語原稿が作られる。



図26 《討議用の資料》

日本語版の討議用資料が作られる。CIE 映画は1作品毎に討議を進めるための資料が添付されている。



図27 《撮影》

日本語版を作るために必要があれば、追加の撮影も行われる。



図28 《日本語タイトル》

日本語のタイトルを作成する。当時のタイトルは手書きの絵を撮影する方式である。



図29 《ナレーション吹き込み》

日本語のナレーションを録音する。



図30 《音楽》

生演奏の音楽が録音される。英語版オリジナルの音楽にはナレーションが重なっているため、音楽から録音し直す必要がある。

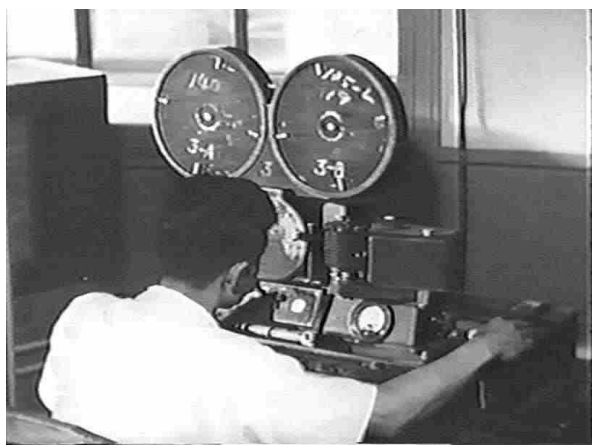


図31 《録音》

サウンドは映画フィルムに磁気ではなく光学的に記録される。



図32 《プリント》

全国に配布される16ミリプリントの量産。
当時、この16ミリの処理を担当していたのは15名から20名くらいで、1週間に3回か4回は徹夜^(注3)になった。



図33 《荷造り》

プリントは、送られる地域ごとに束ねられる。
主要拠点向けに同一タイトルの映画が複数本束ねられていると思われる。



図34 《輸送》

貨物列車で全国の主要拠点に輸送される。

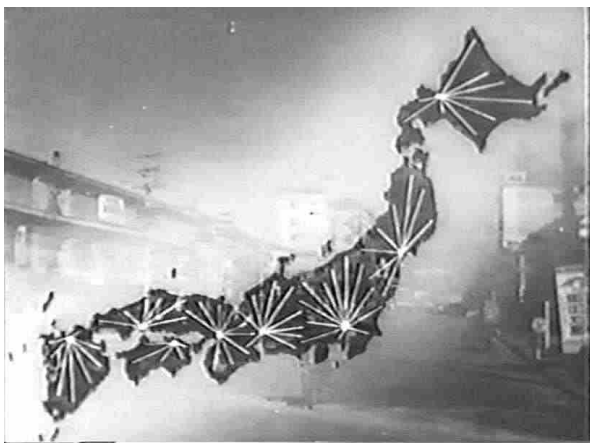


図35 《全国の視聴覚ライブラリー》

さらに拠点から視聴覚ライブラリーに配布される。

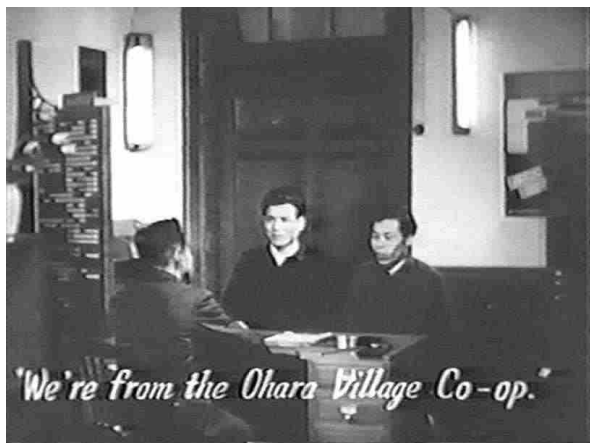


図36 《上映相談》

各視聴覚ライブラリーには、相談窓口があり、
会合にふさわしい映画を推薦してくれる。



図37 《貸し出し状況》

パネルの表示で、現在貸し出し中のタイトルが
わかる。

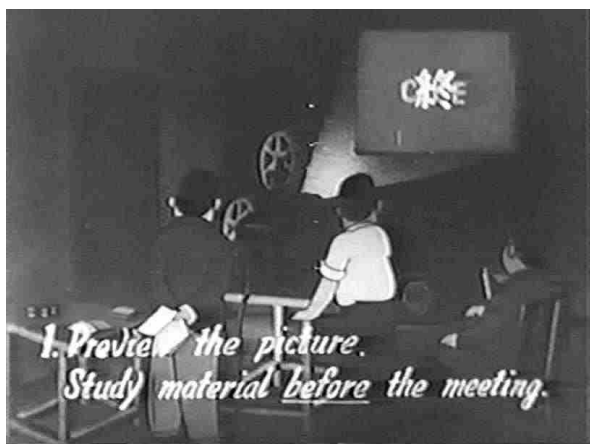


図38 《上映主催者への指導 1》

主催者は映写会の前に試写をしてよく内容を研
究しておくこと。



図39 《上映主催者への指導 2》

前もって数名を指名して討論の用意をさせてお
くこと。



図40 《上映主催者への指導 3》

あらかじめ万端の準備を整え必ず時間通りに始めること。

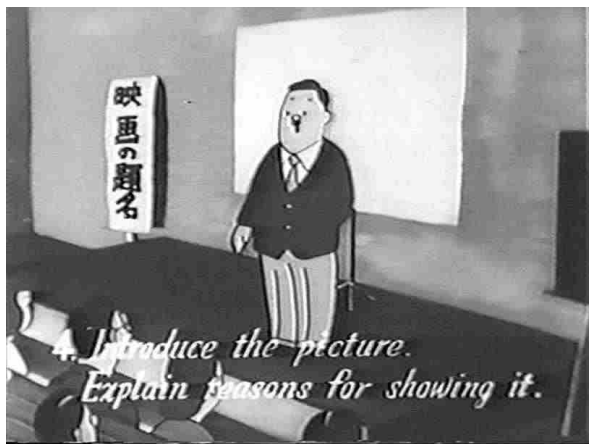


図41 《上映主催者への指導 4》

映画を紹介し、これを見せる理由を説明すること。



図42 《上映主催者への指導 5》

少数の人に会を牛耳られないように、また内気な人にも発言させるようにする。



図43 《上映主催者への指導 6》

まだ、興味のあるうちに討論を打ち切ること。

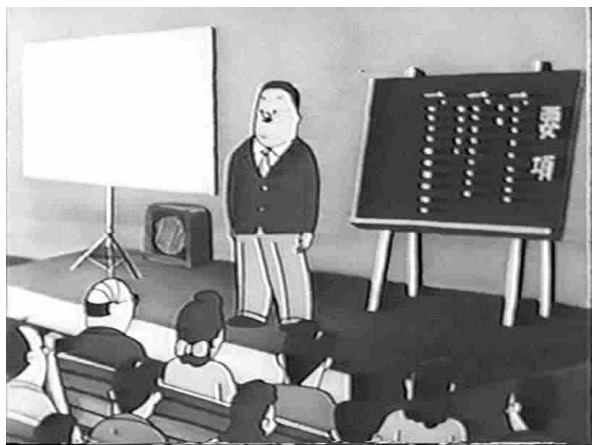


図44 《上映主催者への指導7》

最後に討論の要点を簡単にまとめること。



図45 《上映会場へ1》

貸し出されるナトコ映写機、スクリーンフィルムなどはリヤカーで運ぶほどの大きさと重さ。



図46 《上映会場へ2》

時にはそりで雪上を、時にはバスで、時には水路を船で、時には背中に背負って CIE 映画は日本中どこへでも運ばれる。

以上見てきたように16ミリプリントと映写機の全国への配置、機能的な貸し出し設備と微に入った指導これらのシステムが機能して CIE 映画は否応なく普及した。

4. アーカイブ化の過程

4-1. フィルムセンターによる受け入れ

平成16年(2004)秋、広島大学柴静子教授の紹介で筆者は、群馬県桐生市図書館所蔵のCIE映画フィルムの存在を知る。東京国立近代美術館フィルムセンターへの寄贈を計画し、平成17年(2005)年9月136本のフィルムを同センターに搬入。(すべて上映用ポジプリント、タイトル不明、重複分を含む) 検査したところフィルムの巻き返しが不可能な程劣化したものを除き、85作品88本(うち可燃フィルム3本、不燃性フィルム85本)について保存対象となる。地方公共団体から独立行政法人への資産移譲は地方財政再建特別措置法により禁じられているため、桐生図書館長の個人名義より平成18年(2006)3月に正式寄贈がなされた。前項にて解説したとおりCIE映画の多くはナトコ映写機で上映が出来る16ミリプリントであるが、桐生市に保管されていたフィルムは35ミリフィルムであった。これは、一般の映画館で通常の娯楽映画の合間に上映されていたフィルムであると考えられる。

4-2. フィルムセンターでのフィルム保管

不燃性のフィルムについては、相模原分館専用保存庫の地下2階(摂氏5度、湿度40%)に格納。保存用に新規作成した2本の不燃性フィルムも同様。ただし、極度の劣化により酢酸臭のするフィルム(ビネガーシンドローム)は、地下1階の特別室(摂氏2度、湿度35%)に格納。消防法により危険物第5類である可燃性フィルムは千葉県市原市の危険物専用の民間倉庫(摂氏8度、湿度不定)に格納。

4-3. フィルムセンターによる保存と復元

『アメリカの話題』『アメリカ展望』は可燃フィルムであったため、画像と音声を別々のデュープネガとして保存。また、そこから上映用のプリントを作成。また、不燃性フィルムについても上映企画で使用するものや劣化の激しいものから順に上記と同じデュープネガと上映用プリントを作成した。平成21年(2009)12月時点で28作品について作業を完了。フィルムからビデオ信号に変換するテレシネについては、映写機と違ってフィルムの送り穴(パーフォレーション)を使わずに作業ができるためフィルム保存が不可能だった27本を合わせ115本のフィルムについて作業を行った。^(注4)

5. 記録映画アーカイブプロジェクトでのデータベース化

平成18年(2006)3月、CIE映画研究会(国際日本文化センター、東京大学学際情報学府、株式会社日本映画新社)は、会の研究活動を目的にフィルムセンターより複製利用の許諾を受け、前項の115本(ただし重複があるため作品数は109作品)の全編複製を入手。

東京大学学際情報学府では、記録映画アーカイブプロジェクトの一環として、一部の研究者向けに映像を公開している(著作権上の問題から現在IDとパスワードによる管理のもと一般向けには非公開)。リヤカーやゆきざりで機材やフィルム運び、万端な準備のもと大勢のスタッフで行われた映画上映は、いまやこうして瞬時にひとりの観客の前でも始まる。



図47 CIE・USIS映画 検索データベース キーワード入力画面

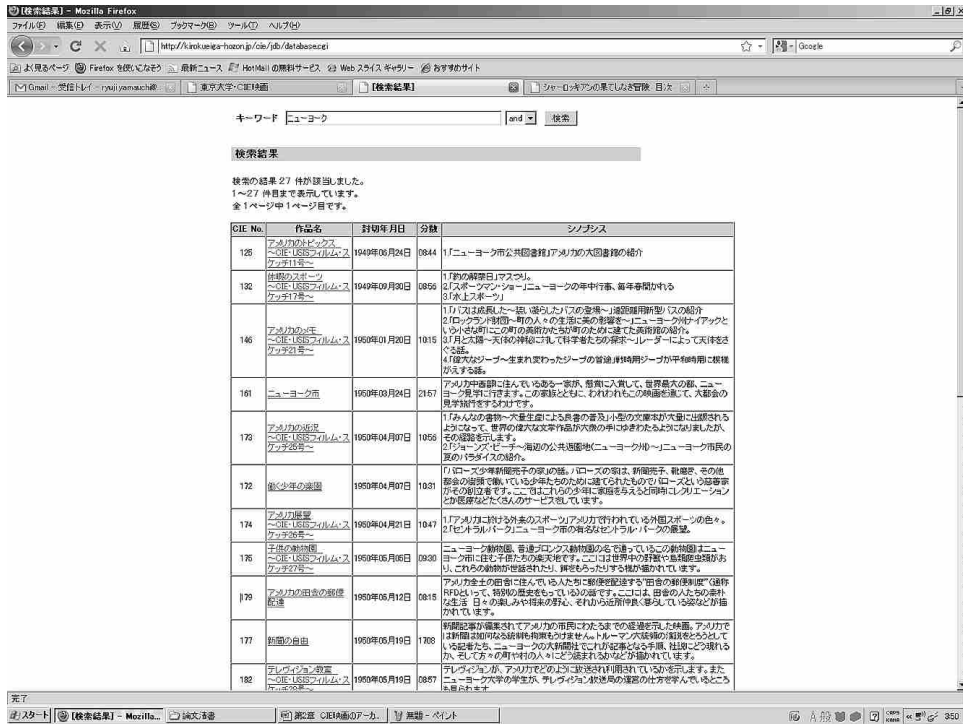


図48 CIE・USIS 映画 検索データベース 検索結果表示画面

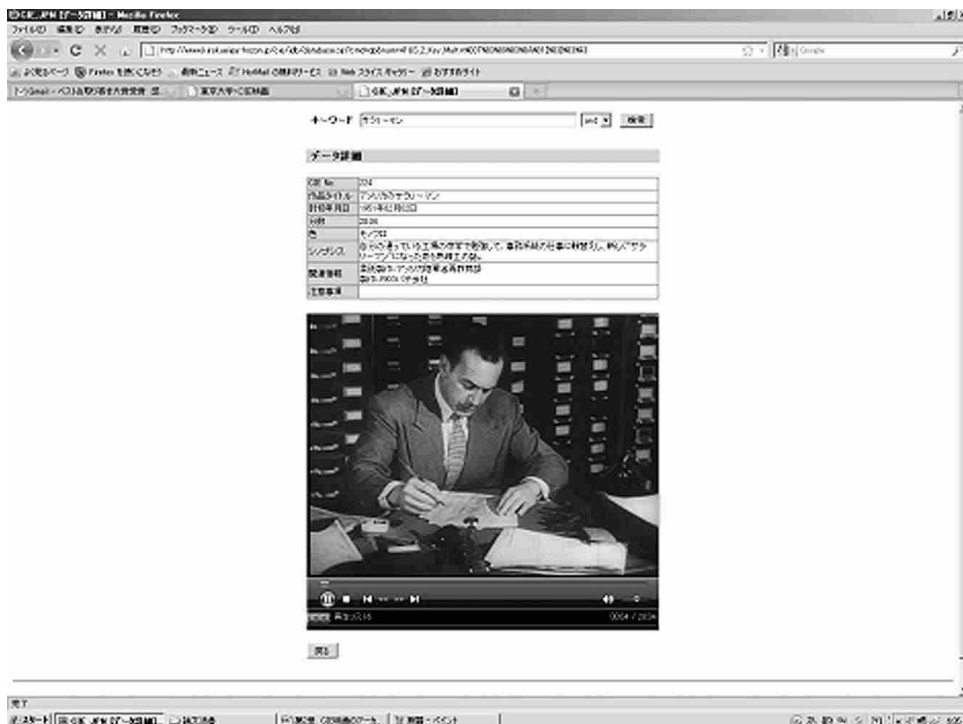


図49 CIE・USIS 映画 検索データベース 閲覧画面

[参考文献]

- 田中純一郎：1979『日本教育映画発達史』東京：蝸牛社
土屋由香：2009『親米日本の構築—アメリカの対日情報・教育政策と日本占領』東京：明石書房
土屋由香：2010「占領期のCIE映画（ナトコ映画）」『日本映画は生きている 第7集』東京：岩波書店
米国大使館：1953『USIS映画目録 1953』東京：米国大使館映画部配給課
柴 静子：2002「占領下の日本における家庭科教育の成立と展開（XV）」『広島大学大学院教育学研究科
紀要 第2部 51号』広島：広島大学

<注>

- (1) 土屋（2010：156）
- (2) 柴（2002：466）
- (3) 土屋（2009：144）
- (4) この27本のテレシネ作業が可能となったのは、株式会社東京光音の卓越した技術によるものである。通常であれば廃棄せざるを得ない状態で、地上から永遠に消滅する運命であったものが見事に救済された。

著者プロフィール

山内隆治（やまうち りゅうじ）1961年大阪府生まれ
東京大学大学院学際情報学府修了。

平成7年より日本映画新社にて映像ライブラリー業務に従事。日本映画新社は昭和15年戦時体制の下、国策映画製作会社として発足した日本映画社を前身とし、平成21年の解散に至るまで数々のニュース映画、記録映画を製作してきた。同社において平成11年度、12年度の2度に渡り当時の通商産業省による映像アーカイブ構築実験に参加するなど歴史的映像の利用と研究に携わる。現在は東京大学大学院学術支援専門員。

記録映画アーカイブプロジェクトでデータベース化した CIE 映画一覧

No	CIE No	Title	Year	Month	Day	Time	Color	Synopsis	Production Corp	RelatedInfo
1	CIE No.126	アメリカの話題 [No.2] ～CIE・USIS フィルム・スケッチ13号～	1949年	07月	29日	09:15	モノクロ	1.「伐採から製材まで」近代式製材場の紹介。 2.「子供が経営する劇場」何から何まで子供だけでやっているアメリカの子供劇場 3.「少年音楽隊」10歳の少年ピアニストの演奏ぶり	東亜発声映画株式会社(日本語版製作)	
2	CIE No.118	国際藝術祭 ～CIE・USIS フィルム・スケッチ14号～	1949年	08月	15日	08:04	モノクロ	イギリスのエジンバラ市で開催された第一回国際音楽演劇芸術祭の実況を写したもの。	マーリンフィルム	
3	CIE No.130	北アイルランド	1949年	09月	30日	15:37	モノクロ	北アイルランドの農工業の全貌の紹介。	東宝株式会社(日本語版製作)	監督： デヴィッド・ヴィリエ
4	CIE No.132	休暇のスポーツ ～CIE・USIS フィルム・スケッチ17号～	1949年	09月	30日	08:56	モノクロ	1.「開漁期」マツリ。 2.「スポーツマン・ショー」ニューヨークの年中行事、毎年春開かれる 3. 水上スポーツ	東亜発声映画株式会社(日本語版製作)	
5	CIE No.120	イギリスは語る ～CIE・USIS フィルム・スケッチ18号～	1949年	10月	21日	08:54	モノクロ	1.「放送局の電波」 2.「海底電線施設」	マーリンフィルム	
6	CIE No.154	アメリカ点描 ～CIE・USIS フィルム・スケッチ19号～	1949年	12月	02日	09:49	モノクロ	1. シカゴからロスアンゼルスへの超特急40時間の旅。 2. プラスチックの肺。小児麻痺患者に科学が贈る福音。 3. 冬山へ。アイダホ州のサンバレーとそこでのウィンタースポーツ。	東亜発声映画株式会社(日本語版製作)	
7	CIE No.146	アメリカのメモ ～CIE・USIS フィルム・スケッチ21号～	1950年	01月	20日	10:15	モノクロ	1.「バスの配達」遠距離用新型バスの紹介 2.「ロックランド財団」ニューヨーク州ナイアックという小さな町にこの町の美術かたちが町のために建てた美術館の紹介。 3.「お月さんと太陽」レーダーによって天体をさぐる話。 4.「偉大なジープ」戦時用ジープが平和時に模様かえる話。	マーリンフィルム	
8	CIE No.158	青少年企業 ～CIE・USIS フィルム・スケッチ23号～	1950年	02月	17日	07:08	モノクロ	全米的な規模で活躍している青少年事業運動の一部として、アメリカの青少年が行っている事業のやり方を紹介しています。この運動は長年の商業企業家が、アメリカの青少年を将来の産業界の指導者にするために行っているものです。	東亜発声映画株式会社(日本語版製作)	
9	CIE No.173	アメリカの近況 ～CIE・USIS フィルム・スケッチ25号～	1950年	04月	07日	10:56	モノクロ	1.「みんなの書物」小型の文庫本が大量に出版されるようになって、世界の偉大な文学作品が大衆の手にゆきわたるようになりましたが、その経路を示します。 2.「ジョーンズ・ビーチ」ニューヨーク市民の夏のパラダイスの紹介。	東亜発声映画株式会社(日本語版製作)	
10	CIE No.174	アメリカ展望 ～CIE・USIS フィルム・スケッチ26号～	1950年	04月	21日	10:47	モノクロ	1.「アメリカの外国スポーツ」アメリカで行われている外国スポーツの色々。 2.「セントラル・パーク」ニューヨーク市の有名なセントラル・パークの展望。	東亜発声映画株式会社(日本語版製作)/ニューヨーク事務局映画部	
11	CIE No.176	浮ぶ劇場	1950年	04月	21日	07:42	モノクロ	今では見られないアメリカのショー・ボートが、アメリカのある大学の熱心な演劇研究生たちの手で水上移動劇場となりました。		
12	CIE No.175	子供の動物園 ～CIE・USIS フィルム・スケッチ27号～	1950年	05月	05日	09:30	モノクロ	ニューヨーク動物園、普通ブロンクス動物園の名で通っているこの動物園はニューヨーク市に住む子供たちの楽天地です。ここには世界中の野獣や鳥類爬虫類があり、これらの動物が世話されたり、餌をもらったりする様子が描かれています。	東亜発声映画株式会社(日本語版製作)	

C I E映画とそのアーカイブ化

No	CIENo	Title	Year	Month	Day	Time	Color	Synopsis	Production Corp	RelatedInfo
13	CIE No.179	アメリカの田舎の郵便配達	1950年	05月	12日	08:15	モノクロ	アメリカ全土の田舎に住んでいる人たちに郵便を配達する“田舎の郵便制度”（通称 RFD といって、特別の歴史をもっている）の話です。ここでは、田舎の人たちの素朴な生活、日々の楽しみや将来の野心、それから近所仲良く暮らしている姿などが描かれています。		
14	CIE No.177	新聞の自由	1950年	05月	19日	1708	モノクロ	新聞記事が編集されてアメリカの市民にわたるまでの経過を示した映画。アメリカでは新聞は如何なる統制も拘束も受けません。トルーマン大統領の演説をどうとしている記者たち、ニューヨークの大新聞社でこれが記事となる手順、社説にどう現れるか、そして方々の町や村の人々にどう読まれるかなどが描かれています。		監督： アレキサンダー・ハミッド
15	CIE No.182	テレビジョン教室～CIE・USIS フィルム・スケッチ28号～	1950年	05月	19日	08:57	モノクロ	テレビジョンが、アメリカでどのように放送され利用されているかを示します。またニューヨーク大学の学生が、テレビジョン放送局の運営の仕方を学んでいるところも見られます。	日本映画社(日本語版製作)	
16	CIE No.164	國を支える三つの柱	1950年	06月	09日	13:36	モノクロ	立法・行政・司法三権分立の面から、日本の政治の民主性が解説されています。	シュウ・タグチ	
17	CIE No.193	ニューヨーク市の消防	1950年	06月	16日	08:19	モノクロ	これはニューヨーク市消防庁の紹介映画で、消防士養成所をはじめ、救助班の活躍や、この消防庁で用いている消火器具や技術が示されます。	東亜発声映画株式会社(日本語版製作)	
18	CIE No.186	工業安全設備	1950年	06月	30日	06:54	モノクロ	工場での事故防止に関する最新の装置が次々と紹介されます。		
19	CIE No.191	わが街の出来事	1950年	06月	30日	14:32	モノクロ	世論ろ近所の人たちの努力で、日本のある町で起こった衛生上の問題を解決する話です。	シュウ・タグチ・プロ	
20	CIE No.213	スクェアダンスを踊ろう	1950年	07月	21日	14:06	モノクロ	スクェアダンス入門、一組の上手な踊り手が、基本動作を実演しています。	東京映研株式会社(改訂版：理研映画株式会社)	監督： 丹生正(改訂版：水木荘也)
21	CIE No.184	カウボーイ祭り	1950年	07月	28日	10:26	モノクロ	昔の西部の生活を再現するカウボーイ祭りには、毎年全アメリカは勿論、カナダからも沢山の人が、ワイオミング州シアアイアンヌにやって来ます。昔ながらのパレードやロデオがこの映画にも出て来ます。		
22	CIE No.201	再起の歩み	1950年	07月	28日	09:51	モノクロ	アメリカの肢体不自由児のために特殊施設で、その児童たちがうけている慎重な教育や指導ぶりを紹介しています。	フレデリック・ハウスプロダクション	監督： リオ・セリアー
23	CIE No.197	何にでもなる木	1950年	08月	04日	10:16	モノクロ	インドにおける椰子の木の利用状況を写したものの。インド経済の将来を暗示するものがあります。	エズラ・ミア	監督： A・バースカー・ラッド
24	CIE No.191	働くもの、苦情処理(安全燈)	1950年	09月	01日	29:41	モノクロ	労資間の紛争を労働協約によって解決する段階を示した国内製作映画。	日本映画社	監督： 衣笠十四三
25	CIE No.166	議事の進め方	1950年	09月	22日	21:50	モノクロ	民主的な議事の進め方の基本が解説されています。開会・討議・投票の場合にとるべき手順などをこの映画は教えています。	理研映画株式会社(日本語版製作)	監督： 水木荘也
26	CIE No.248	共同募金	1950年	09月	29日	20:49	モノクロ	コロンビア大学社会科の学生が、ニューヨーク州ヨンカーズの町に行き、有名な共同募金が、この町でどんな風に運営されているかを研究する話です。	RKO パテ会社	
27	CIE No.247	国連本部の誕生	1950年	10月	13日	23:16	モノクロ	ニューヨーク市に、国連本部の建設が始まったため、付近の子どもたちは遊び場を失ってしまいました。そこで子どもたちは国連本部に抗議を持ち込みましたが、その建物に携わる人々から国連の意義や事業をきいて、納得するのでした。		

No	CIENo	Title	Year	Month	Day	Time	Color	Synopsis	Production Corp	RelatedInfo
28	CIE No.249	海はわが故郷	1950年	10月	18日	10:29	モノクロ	国際連合が各国の船員に与えている国際的な保護と便宜とを見せます。	オランダ/マルティ・フィルム・スタジオ・ハールレム	
29	CIE No.200	いとしき子らのために	1950年	10月	20日	39:32	モノクロ	二人の日本の先生と市民的良心の強い小使いさんが協力して、町のボスとその子分に牛耳られた教育委員たちを駆逐する話。	東宝株式会社(日本語版製作)	
30	CIE No.211	明るい家庭生活	1950年	10月	20日	20:33	モノクロ	都会と田舎に住む二人の日本の少女が、学校でのホームプロジェクトの主題に“台所の改善”を選びます。二人は自分の家の台所を便利で衛生的で現代風なものにします。	大泉映画株式会社(日本語版製作)	
31	CIE No.185	イギリスの炭鉱業	1950年	10月	27日	18:05	モノクロ	機械力と人々の協力により立ち直ったあるイギリスの炭坑での実話。		
32	CIE No.196	働くものの権利(働くものゝ権利)	1950年	11月	17日	19:50	モノクロ	労働者の権利が法律によってどのように守られているか?日本の労働基準局が労働者の利益のためにどんな仕事をしているか?その解説です。	東宝株式会社(日本語版製作)	監督:西澤豪
33	CIE No.223	田舎の店	1950年	11月	24日	18:51	モノクロ	余りよく知られていないアメリカの一面、即ち小さな田舎の村の単純な生活を紹介した映画。ケンタッキー州サウンスウィルの雑貨店は他の村でもそうですが、村人の交際の中心で、アメリカ中のどんな田舎にも見られる親愛感と奉仕の精神を象徴しています。	アメリカ陸軍再教育部(委託製作)	
34	CIE No.194	格子なき図書館	1950年	12月	05日	22:04	モノクロ	新しい図書館法によって、日本の図書館も一般に開放されました。自由接架法、視聴覚機材その他目新しいものが紹介されます。	日本映画社(日本語版製作)	
35	CIE No.214	漁(すなど)る人々	1950年	12月	15日	24:47	モノクロ	美しい村の風景を背景に展開する漁民の物語。即ち新しい漁業法によって保障された漁民の権利によって、よりよき生活を戦いとうとする漁民闘争物語です。	シュウ・タグチ・プロ	
36	CIE No.225	働くアメリカ婦人	1950年	12月	22日	19:13	モノクロ	アメリカの婦人たちは、会社、工場、専門職業各分野で年々重要な役割を果たしつつあります。この映画では、四人の働く婦人とその生活、職業、そして彼らがそれぞれ工場に事務所に、癌研究所に、商店に現在働いているわけが物語られています。	RKO パテ会社	
37	CIE No.192	公民館	1950年	12月	29日	32:03	モノクロ	カメラは大津市民公民館、福島県の田舎町にある公民館、飛騨の山奥の公民館、瀬戸内海の離れ小島の公民館…等、日本全国各地の公民館を次々に訪ねます。これらの公民館は、いずれもその町の人たちの集会場であり、レクリエーションや教育の中心として活動しているのです。	日本映画社(日本語版製作)	
38	CIE No.198	農村の生活改善	1951年	01月	12日	17:57	モノクロ	若い世代の日本の農村青年たちが、どのようにしてその生活環境の向上を図っているかを描いています。生活環境や衣服を科学的で実的なやり方で改善し、その結果、生活がいかに向上したかを示します。	理研映画株式会社(日本語版製作)	
39	CIE No.251	アメリカの大学生活	1951年	01月	19日	43:00	モノクロ	ロスアンゼルス市のカリフォルニア大学における大学生の健康、生活、その他様々な活動を紹介します。ここでは4人の大学生の生活を通して、自治運動、社交、勉学、アルバイトなどを一瞥しています。	エイベックス映画製作所	監督:ウィリアム・スィーバ
40	CIE No.180	オクラホマ州タルサ市	1951年	01月	26日	15:11	モノクロ	オクラホマ州タルサ市の急速な発展は、その市民が、石油生産一点張りのやり方に満足せず、多角的な生産都市としての発展を願って計画し、協力し、忍耐したために得られたものです。	ニッカーボッカー・プロダクションズ	監督:ピクター・D・ソロー

C I E映画とそのアーカイブ化

No	CIENo	Title	Year	Month	Day	Time	Color	Synopsis	Production Corp	RelatedInfo
41	CIE No.224	アメリカのサラリーマン	1951年	02月	02日	20:04	モノクロ	自分の通っている工場の夜学で勉強して、事務系統の仕事に鞍替えし、新しく“サラリーマン”になったある熟練工の話。	RKO パテ会社	
42	CIE No.258	問題を解決する町	1951年	02月	16日	16:16	モノクロ	ある町での出来ごと～生徒の学校給食問題～が、先生たち、PTA、地方自治団体の協力で解決するという話。		
43	CIE No.257	余暇を生かして…	1951年	03月	03日	20:06	モノクロ	一日の仕事がすむと、アメリカ人は後の余暇をめいめい好きなように使っています。図書館に行くのもあれば、博物館で開かれる講座に行く者、美術学校に行く者、色々です。この映画は、余暇を利用して創造的な仕事をするなど、最善の利用方法を示すために努力しております。	ハーバードカコウ・プロダクション(ニューヨーク市)	
44	CIE No.263	アメリカ演劇をたずねて ～CIE・USIS フィルム・スケッチ31号～	1951年	03月	16日	08:04	モノクロ	米国にし南部地方の夏の野外オペレッタ、劇団の紹介、特にメキシコ人の劇場や大学生がやる子供のための芝居などが目をひきます。		
45	CIE No.259	児童博物館	1951年	04月	27日	17:30	モノクロ	ブルックリン児童博物館は子供専用の博物館です。この映画では、一団の子供たちが記者になって沢山のおもしろい展示品や、この博物館で催されている行事などのことを記事にして、博物館を紹介しています。	ジェームズ・シュウェップ	
46	CIE No.315	世論と政治活動	1951年	06月	15日	20:28	モノクロ	これはアメリカの国会議員の話で、彼の選挙区民がこの議員を通じて、自分たちの意見をどのように国会に反映しているかを説明しています。		
47	CIE No.301	アメリカ雑記 ～CIE・USIS フィルム・スケッチ36号～	1951年	08月	10日	09:27	モノクロ	1.「ボストン」 古都ボストン見物。 2.「自動洗濯屋」 この店のおかげで、お客さんは、時間とお金の節約ができるというわけ。 3.「ローラースケート」 人気をよんでいるローラースケート風景。		
48	CIE No.287	一番安全な道	1951年	09月	14日	16:44	モノクロ	やさしい交通安全規則を学校で教わった生徒たちが、学校・教会・映画館・自分の家をつなぐ一番安全な道を自分たちで見出します。	ペンシルヴェニア州立大学	
49	CIE No.231	高崎での話	1951年	09月	28日	19:35	モノクロ	日本の地方新聞創刊とその経営物語。町の世論が、ついに新聞発行を促すにいたったいきさつが描かれています。	(日本版製作)	
50	CIE No.322	美術学生連盟	1951年	10月	12日	16:22	モノクロ	1870年代に一群の学生たちによって作られた有名な美術学生連盟は、これといって決まった計画は持っていません。あらゆる画風の描き方を推奨しながら、専門的な美術教育をしています。この珍しい学校は、一般的に開放されていて、その会員の手で自治的に独立会計で運営されています。若い技師が一流の画家になって行く姿がこの映画では描かれています。	ニッカーボッカー・プロダクションズ	
51	CIE No.362	永遠の戦い	1951年	10月	19日	21:17	モノクロ	世界保健機関と、疫病発生地における永久に終わることのないこの機構の戦いを描いたもの。全人類の健康を保持するための世界技術援助の話です。	国際連合情報部映画視聴覚情報課(委託製作)	
52	CIE No.351	保健婦の手紙	1951年	11月	09日	17:41	モノクロ	都会の保健婦と田舎の保健婦が、手紙でお互いの仕事について話し合います。	プレミアヤ映画株式会社(日本版製作)	
53	CIE No.375	交換学生の一年	1951年	11月	16日	29:09	モノクロ	アメリカの交換留学生として渡米した日本留学生の学校生活の記録映画。	フランク・ドノバン・アソシエーツ	
54	CIE No.353	国連記念祭 ～CIE・USIS フィルム・スケッチ35号～	1951年	11月	30日	10:02	モノクロ	世界各国で催される国連記念祭の紹介。この映画ではアメリカのある町で催されたその日の模様を描いています。		

No	CIENo	Title	Year	Month	Day	Time	Color	Synopsis	Production Corp	RelatedInfo
55	CIE No.361	値段と品物	1951年	11月	30日	21:03	モノクロ	工場経営と作業の能率化によって、どれだけ価格を下げ、品質をあげることができるかを示した映画。特に“工場内の教育”(実務指導)の効果が力説されています。	株式会社電通映画社(日本版製作)	
56	CIE No.373	友情のかがりび	1951年	12月	07日	09:41	モノクロ	日本の野尻湖畔で挙行されたYMCA国際年長少年キャンプの記録映画。これは友情と国際親善の二週間でした。	シュウ・タグチ・プロダクション	
57	CIE No.356	一步前進	1952年	01月	04日	19:51	モノクロ	日本のあるサラリーマンが失業して、職業安定所を訪ねます、そして失業保険をうけている間に職業補導所に入って、新しく自動車工としての指導をうけます。かくして、彼は新しい生活への一步をふみ出すのです。	中井プロダクション(日本版製作)	
58	CIE No.352	社会を教室に	1952年	01月	11日	16:44	モノクロ	アメリカのこの町では、市民が学校の要請に応じて、各自の技術と知識を役立て、“社会を教室へ”という運動を実行しています。	IMPS(国際映画製作者協会)	
59	CIE No.246	ユネスコと私たち	1952年	02月	01日	19:51	モノクロ	日本とユネスコの関係を示す映画。日本のユネスコ協会、学生ユネスコ会、ユネスコこども博覧会、ユネスコ村などの生活も見られます。	理研映画株式会社(日本語版製作)	
60	CIE No.385	アメリカへの手引	1952年	02月	08日	21:23	モノクロ	米国政府のアメリカ留学生として一年間の研究を許された日本の女子大学生が、ニューヨーク州のある学校でつけた6週間の準備教育期間における体験談です。	フランク・ドノバン・アソシエーツ	
61	CIE No.386	国際連合の意義	1952年	02月	08日	19:07	モノクロ	日本のアメリカ交換学生が、ニューヨーク市の国連本部を訪問します。この学生が、国連とその各機関の意義や遥か離れた日本の僻村で生活している彼の両親の生活に、それがどんなに深い関係をもっているかを、手紙で両親に宛書き送るのです。	ニッカーボッカー・プロダクションズ	
62	CIE No.363	ある村の歩み	1952年	02月	15日	20:18	モノクロ	日本のある村で起こった様々な変化。農地改革法を実施するために色々な委員会を設けたり、民主的な農協組合を作ったり、公民館の建設や農業改良普及員の仕事などを、一人称で物語っていきます。	日本映画社(日本語版製作)	
63	CIE No.397	国連スクリーン・マガジン 第7号	1952年	02月	15日	10:08	モノクロ	1.「世界の法廷」国際司法裁判所 2.「インドネシア独立」もとオランダの植民地であったインドネシアが、国連の援助によって独立した経緯。		
64	CIE No.388	前進する社会[前編]	1952年	02月	29日	19:36	モノクロ	民主的政体と独裁的政体を比較しつつ、ある漁村で全村の利益のために、問題を民主的に解決した物語を展開します。	サン・ディアル・フィルムズ	
65	CIE No.388	前進する社会[後編]	1952年	02月	29日	09:32	モノクロ	民主的政体と独裁的政体を比較しつつ、ある漁村で全村の利益のために、問題を民主的に解決した物語を展開します。	サン・ディアル・フィルムズ	
66	CIE No.392	よい隣人	1952年	02月	29日	27:58	モノクロ	隣人愛にとんだ少女が、やがて社会事業に生涯を捧げるという話。さて、老婦人だけの養老院につとめることになったこの少女は、この人たちの必要なことは、結局養老院の中ではえられない、養老院の外、即ち社会そのものの中でこそえられるのだということをも身を以って知るのである。	ハーバード・アカコウ・プロダクション(ニューヨーク市)	
67	CIE No.395	家族	1952年	03月	07日	18:02	モノクロ	ごくありふれたアメリカの一家。家族の上にかかる様々な問題。それをお互いが協力して、家庭のもの全部の益になるように解決していく、その有様を描いた映画です。	ハーバード・アカコウ・プロダクション(ニューヨーク市)	

C I E映画とそのアーカイブ化

No	CIENo	Title	Year	Month	Day	Time	Color	Synopsis	Production Corp	RelatedInfo
68	CIE No.387	エコソクの話	1952年	03月	14日	20:08	モノクロ	国連の経済社会理事会が行っている貧困、悲惨、戦争との闘いの有様と、国際間の社会的・経済的協力を推進していく様子を示します。		
69	CIE No.396	アメリカの印象 第二集	1952年	03月	14日	16:00	モノクロ	日本の洋裁家がアメリカで催された国際ファッションショーを訪れた時の話と、訪米日本僧の見た青少年施設の紹介、そうして、もう一人の僧がアメリカの宗教事情について語るところで終わります。	株式会社ファースト映画社(日本版製作)	
70	CIE No.402	戦争花嫁	1952年	03月	21日	30:27	モノクロ	日本進駐時代のアメリカ兵と結ばれた日本の花嫁さんが、アメリカで新しい生涯を始めるのですが、色々な困難にも拘らず、それを乗り越えて、友情と幸福をえられるようになったという話。	ニッカーボッカー・プロダクションズ(日本版製作)	
71	CIE No.401	赤の陰謀	1952年	03月	28日	21:00	モノクロ	世界を脅かす共産主義侵略を、過去の記録から纏めたもの。特に日本における共産主義の暴力事件がおさめられています。	(日本版製作)	
72	CIE No.403	病菌はどこにあるか	1952年	03月	28日	18:02	モノクロ	日本の保健所の食品衛生の係員がある姉とその弟を冒した病気の原因をどういう風にしてさぐりあてたか…。この映画は食品衛生監視員の活動と危く病気の伝染をくいとめることができたきさつを描いています。	中井プロダクション(日本版製作)	
73	CIE No.399	ディスカッションの手引	1952年	04月	04日	23:30	モノクロ	漫画と実景によって、円卓会議式、陪席式、講壇式討論だの、バスセッション(六々式討議)聴衆の批判による討議、聴衆代表陪審式討議、ロールプレイング討論法などを解説した映画。これらを適当に組合わせて用いれば、さらに興味あるものとなり効果も上がります。	理研映画株式会社/日本漫画映画株式会社(日本版製作)	
74	CIE No.406	労働組合員教育	1952年	04月	04日	16:36	モノクロ	一人の工場員が、労働組合について、それが誰を代表しており、いかに運営されるものかということ学びます。労働組合についての知識をもりこんだのがこの映画です。	株式会社電通映画社(日本版製作)	
75	CIE No.308	新しい隣人	1952年	04月	11日	09:04	モノクロ	教室が一つかない古びた学校を、あるアメリカの農村が挙って協力し、大きな近代式学校にした話。それは、この人たちが教育委員会に公明選挙で選んだ自分たち代表を送り、この教育委員会が活動したからです。		
76	CIE No.364	実験学校	1952年	04月	25日	15:22	モノクロ	専ら天才児の教育にあたっている小学校。ニューヨーク市のハンターカレッジ小学校の紹介映画。この学校は普通の科目とともに特別のプロジェクトによる豊富な教育計画をもっております。	ヴィクター・ソロー	監督：ヴィクター・ソロー
77	CIE No.391	世界のつどい	1952年	05月	07日	13:44	モノクロ	人間は言葉をもっているお陰で、暴力に訴えずに問題を論じ合うことができます。国連総会では、これが国際間において実行されているわけです。	マーチ・オブ・タイム	
78	CIE No.335	アメリカだより～CIE・USIS フィルム・スケッチ40号～	1952年	06月	20日	09:10	モノクロ	1.「村のクリスマス」アメリカの田舎ならどこでも見られるクリスマス風景。ここにはバーモンド州のある村をとりあげています。 2.「学校巡視隊」ニュージャージーの中学校では、生徒が交通整理をはじめ警察官の仕事をしています。 3.「馬について」競馬馬の飼育とロデオ。		
79	CIE No.255	日曜日のニューヨーク市	1952年	06月	27日	08:34	モノクロ	世界最大の都ニューヨーク市の、普通の日ではなく、市民が忙しい生活から離れて、公園に、娯楽場に楽しい時をすごすある日曜日の風景です。	U. S. I. S.	

No	CIENo	Title	Year	Month	Day	Time	Color	Synopsis	Production Corp	RelatedInfo
80	CIE No.336	アメリカだより ～CIE・USIS フィルム・スケッチ41号～	1952年	07月	18日	08:58	モノクロ	1.「警察運動連盟」子供が悪い遊びをしないようにというので、ニューヨーク警察では運動連盟というのを作って、ニューヨーク全市の青少年に健全娯楽を与えています。 2.「ダートマス・ウィンターカーニバル」ダートマス大学が毎年行っている冬の運動会の賑い。		
81	CIE No.377	音楽の森	1952年	10月	03日	20:18	モノクロ	ボストン近郊にあるタングル・ウッド音楽学校は音楽のメッカといわれています。この映画では、ベートーベンの“エグモント序曲”と、ランドール・トムソンの“ダビデ最後の言葉”を、この学校の学生が演奏するところが聞かれます。指揮者は今は故人となったセルゲイ・クーセビツキー博士です。	MPO プロダクション(ニューヨーク市)	
82	CIE No.372	暴風圏	1952年	10月	17日	22:29	モノクロ	カリビア海地域の旋風予告の仕事が劇的に記録された映画です。アメリカ海空軍が気象台総指揮の下に行う警報伝達の順序や、暴風の被害状況、それから赤十字社の救援作業などが展開していきます。	ニッカー・ボッカー・プロダクションズ	
83	CIE No.367	子供の美術学校	1952年	10月	24日	09:36	モノクロ	マサチューセッツ州ボストン市に、子供たちのレクリエーションと放課後の教育を無料で行う“児童美術センター”ができました。この映画は、このセンターの児童たちの手になる画や彫刻等の作品を紹介します。		
84	CIE No.404	ニューズマガジン第36号 いなご	1952年	11月	07日	07:38	モノクロ	イランの国を挙げたいなご駆除対策。アメリカの支援により噴霧装置を搭載した小型飛行機で殺虫剤を撒き、いなごを全滅させます。		
85	CIE No.376	夏の美術学校 ～CIE・USIS フィルム・スケッチ45号～	1952年	11月	21日	09:23	モノクロ	アメリカのケーブ・カッドの美術村には、夏休みになると、画家や素人画家がどっとおしよせます。そこでは有名な一流画家たちが専門画家と初心者を開かず、画塾を開いて教えています。そして、夏の間には制作された画の展覧会を最後に開いてシーズンが終わるのです。		
86	CIE No.359	スクリーン・マガジンNo.1	不明	不明	不明	10:42	モノクロ	第一集 1.「血液銀行の話」 2.「沿岸を守る人々」		
87	CIE No.131	新しい保健所	1949年	08月	05日	20:27	モノクロ	新しい日本の保育所の紹介で、環境衛生監視員と保険婦の活動が描かれています。		
88	CIE No.172	働く少年の楽園	1950年	04月	07日	10:31	モノクロ	「ハロース少年新聞売子の家」の話。ハロースの家は、新聞売子、靴磨き、その他都会の街頭で働いている少年たちのために建てられたものでハロースという慈善家とその創立者です。ここではこれらの少年に家庭を与えると同時にレクリエーションとか医療などたくさんサービスのしています。		
89	CIE No.125	アメリカのトピックス ～CIE・USIS フィルム・スケッチ11号～	1949年	06月	24日	08:44	モノクロ	1.「ニューヨーク市公共図書館」アメリカの大図書館の紹介 2.「野球」ワールドシリーズのそれに熱狂する観衆。		
90	CIE No.129	スポーツレビュー ～CIE・USIS フィルム・スケッチ15号～	1949年	08月	26日	11:07	モノクロ	1.「ピローグ・レース」浅底の細長くくりぬき舟ピローグの競争 2.「人気の焦点となったボーリング」アメリカで今一番人気のある室内遊戯。 3.「優勝馬」いろんな芸当をするおうちに特殊訓練をした馬の紹介。 4.「女子野球」アメリカの女子職業野球団。		

C I E映画とそのアーカイブ化

No	CIENo	Title	Year	Month	Day	Time	Color	Synopsis	Production Corp	RelatedInfo
91	CIE No.338	アメリカだより ～CIE・USIS フィルム・スケッチ43号～	1952年	09月	19日	05:38	モノクロ	1.「町の消防隊」町の篤志消防隊の活躍。 2.「冬に挑む」アメリカ最大の大吹雪のため封じ込められた農民・旅行者・家畜の救出作業。 3.「見事なダイビング」ダイビング選手の妙技。		
92	CIE No.342	国連スクリーン・マガジン5号	1951年	04月	19日	10:49	モノクロ	1.「国連クラブでダンスを見せる印度人学生」インドの踊り 2.「リビアの独立を可決する国連」もとイタリアの植民地だったリビア独立の様様。		
93	CIE No.178	組立式住宅	1950年	12月	29日	08:18	モノクロ	大量生産による新建築法は、非常に成果をあげていますが、この映画は、その建築法を段階ごとに見せてくれます。この建築法によりますと、住宅各部分が予め工場内で一定の規格に応じて作られ、建築地に運ばれると瞬間に組合わせられるのです。		
94	CIE No.265	摩天楼の曲芸師	1951年	02月	23日	06:19	モノクロ	ごたごたした事務所や地上で働くよりは、摩天楼の上で窓掃除をしたほうがまだという、窓掃除夫の仕事ぶりを紹介した面白い映画です。		
95	CIE No.226	アメリカの自動車工	1950年	12月	08日	22:11	モノクロ	アメリカの典型的な工場労働者の話。職場、家庭の生活、そして組合・工場経営者・隣人との関係など。彼は熱心に働き、また信仰心もある。そして市民としてなすべきことは進んでし、共同社会のためにも喜んで働きます。		
96	CIE No.324	成人教育	1951年	09月	07日	18:36	モノクロ	生徒の授業が終わると、今度は大人が学校へやってきます。彼らは数学・演説法・料理・室内装飾などを学んで、自分の仕事の向上をはかり、また創造的な工作をして、生活を高め慰めをえます。		
97	CIE No.269	ニューイングランドの農夫	1952年	07月	11日	10:54	モノクロ	今日のニューイングランドを築いたその土地、人々、伝統などの紹介。この土地は、瘦せて岩だらけで、もう長年使いきって疲れており、冬はまた長いのですが、それでも農民たちは、自分の農場や静かな町や自由を誇りとしているのです。		
98	CIE No.302	アメリカだより ～CIE・USIS フィルム・スケッチ37号～	1951年	09月	07日	09:10	モノクロ	1.「石鹸箱ダービー」エンジンのない手作りの箱自動車で、全米選手権を争うアメリカの少年たち。 2.「一人で商売」自動車にイタリア風食料をつんで、田舎に住んでいるイタリア人たちに売り歩く移動食料店。 3.「プラスチック」石油と各種合成樹脂で作る不壊の硝子。		
99	CIE No.222	ストレプトマイシン	1950年	12月	15日	09:36	モノクロ	特効薬ストレプトマイシン発見物語。セルマン・ワクスマン博士の土壌微生物の不動の研究が実を結んだのです。		
100	CIE No.152	アメリカの住宅問題 ～CIE・USIS フィルム・スケッチ20号～	1949年	12月	30日	07:42	モノクロ	アメリカの各大都市では、古くて危険で不衛生な細民街をこわして、低収入の労働者のために近代的な大アパートを建てています。		
101	CIE No.354	新しい村の学校	1951年	12月	28日	09:12	モノクロ	教室が一つしかない古びた学校を、あるアメリカの農村が挙って協力し、大きな近代式学校にした話。それは、この人たちが教育委員会に公明選挙で選んだ自分たちの代表を送り、この教育委員会が活動したからです。		
102	CIE No.317	視聴覚教材と教育	1951年	08月	10日	12:10	モノクロ	アメリカの学校の先生が、教室で日本人やその生活のことを教えるのに、模型や読み物などの視聴覚教材をどんな風に活用しているか、その有様を見せます。		

No	CIENo	Title	Year	Month	Day	Time	Color	Synopsis	Production Corp	RelatedInfo
103	CIE No.206	少年野球リーグ	1950年	07月	14日	19:19	モノクロ	「少年野球リーグ」はある町で始められた。素人ばかりの全然営利を目的としないリーグで、8歳から12歳までの少年を対象としています。この映画はこのリーグの由来と試合ぶりを見せます。		
104	CIE No.138	腰の曲がる話	1949年	09月	02日	19:23	モノクロ	日本婦人の解放を描いた映画。激しい仕事を負わされ、社会からも見放されていた日本の婦人たちの宿命も、こうすれば打ち破ることができるという話です。	日本映画社	
105	CIE No.345	平和への意志	1951年	09月	18日	32	モノクロ	第二次大戦後、アメリカとソ連がとった世界政策とその行動の比較を対照的に描いています。		
106	CIE No.181	アメリカの村の雑貨屋	1950年	07月	07日	17:55	モノクロ	アメリカの村の雑貨屋は、雑貨を売るだけではありません。その店がまるで村のあらゆる生活の中心になっているのです。村の人たちはおしゃべりや雑談をしにやってくるし、またこの店が郵便局にもなるのです。		
107	CIE No.293	国際自由労連ロンドン大会	1951年	05月	21日	22:45	モノクロ	ロンドンで開かれた国際自由労働組合連合結成式。		
108	CIE No.305	1949年ワールドシリーズ	1951年	05月	04日	36:05	モノクロ	伝統を誇るワールドシリーズ1949年版。ニューヨーク・ヤンキーズ対ブルックリン・ドジャーズの試合。	シカゴフィルムスタジオ	
109	CIE No.161	ニューヨーク市	1950年	03月	24日	21:57	モノクロ	アメリカ中西部に住んでいるある一家が、懸賞に入賞して、世界最大の都、ニューヨーク見学に行きます。この家族とともに、われわれもこの映画を通して、大都会の見学旅行をするわけです。		